



明日へ

平成15年7月20日発行
児童養護施設鎌倉児童ホーム
(発行責任者 園長大久保稔)

〒248-0017

神奈川県鎌倉市佐助1-6-6

電話 0467-22-0424

FAX 0467-22-1766

ご挨拶

星の见えない七夕が、久しく続いています。夜空に天の川が見えなくなって、子どもたちの育ちはどう変わったのでしょうか？

最近の殺伐とした世相は、夜空から天の川が見えなくなったからだという説はまだ無いようですが、私は影響していると思っています。

鎌倉児童ホームの園舎も、お陰様ですっかり新しくなりました。数え切れない多くの方々のご配慮、ご支援、お力添えの賜と深く感謝しております。

この新しい園舎が、ここに育つ子どもたちの心を豊かにしてくれると信じています。

ちょっと寂しくなったのは、隣接の崖の途中に生えていた大きな「タブ」の木の枝が切り払われたことです。市の建築指導課の指示に従い、木の持ち主のご了解も得られ、身軽に刈り込んでいただきました。長髪が丸坊主になったようで、見慣れた方々にはいささか違和感と、寂しさがあるかもしれません。今いる子どもたちは、その変化と、たくましく芽吹いていく「タブ」の木の力強さを心に留めて、育っていくことでしょう。

「人が土を耕し、土が人を育てる」という言葉があります。仮園舎跡地でのささやかな野菜作りも始まりました。かご一つに満たない収穫かもしれませんが、作物にかかわった子どもたちの心には、計り知れない収穫が得られるはずです。

子どもを育てるということは、環境を整えることだと思います。

鎌倉児童ホームも少しずつ前進しています。これからも、変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

理事長 小原 勉



鎌倉児童ホーム園舎建設の経過報告

園舎の全面改築の経過について、それに先立ち建設した職員宿舎も含めて、ご報告させていただきます。

職員宿舎の建設

旧園舎は児童の居室に隣接する部屋（通称「保母室」）に職員が住込み、児童と共に生活する構造（住込制）となっていました。職員の労働条件を改善する観点から、新園舎はもちろん、仮園舎の段階から、通勤宿直制に切り替えることにし、園庭の南側の当法人の所有地に単身用職員宿舎（10人分）を建設することにしました。

平成13年3月1日に入札を行い、大和ハウス工業株式会社に決定し、同年6月5日に起工式を行い、工事に着手し、同年9月に完成しました。同年10月1日から職員は居住しています。宿舎の名称は、職員から募集し、『カーサ エスペランサ』としました。

仮園舎の建設（リース）

新園舎が完成するまで子どもたちが生活する仮園舎は、園の西側に隣接する当法人の土地にリースで建設することにしました。平成13年7月26日に入札を行い、大出産業株式会社に決定し、同年9月10日に起工式を行い、工事に着手し、同年11月に完成しました。子どもたちは同年11月23日に仮園舎に引越しました。

仮園舎は、軽量鉄骨造2階建、延面積989㎡で狭いことから、食堂はなく、講堂代わりには廊下を広くしたフリースペースを使用しました。ただし、旧園舎では風呂場は全体で1か所しかありませんでしたが、仮園舎では各家（生活グループ）に設置されました。

なお、当初は、幼児も仮園舎で生活の計画でしたが、あまりにも狭いと判断から、以前の計画で、旧職員住宅を幼児の居室に使用すべく改修済みであったので、それを活用することにし、仮園舎は学童のみとしました。

新園舎の建設

平成12年3月27日の理事会で建築設計事務所を3社の中から選定（株式会社豊建築事務所）し、先に策定した「基本構想」（『明日へ』第2号に掲載。）を基に、「建設委員会」（法人役員5名、施設職員6名で構成）と豊建築事務所とで設計等の検討作業を進めました。当初は、各家（生活グループ）の児童編成はすべて幼児を含む年齢縦割としていましたが、平成12年度に旧園舎で試行した結果を踏まえて、幼児は別にすることにし、1階の2つの家を幼児用に設計変更しました。

平成13年9月21日に15社で入札を行い、株式会社大林組横浜支店に決定しました。起工式は、旧園舎の解体工事終了後の平成14年3月6日に行いました。地域自治会（役員会）には、職員宿舎建設、仮園舎建設、旧園舎解体・新園舎建設の節目に3回説明会を行いました。園の子どもたちの見学会は新園舎建設工事の途中に2回行いました。

建設工事は計画通り順調に進み、平成15年3月14日に竣工式を行い、その後、近隣の方々、学校の先生等を対象に内覧会を行いました。園の子どもたちは3月27日に新園舎に引越しました。鉄筋コンクリート3階（一部2階）建、延面積3,113.5㎡です。

建設工事費の合計は8億3548万3千円で、国・県等の補助金は4億2652万1千円、社会福祉・医療事業団等からの借入金は3億5860万円です。

配置図及び居室 (学童) 平面図



< 配置 >

住居棟 (東)

- 1階 食堂
- 2階 和の家
泉の家
- 3階 ナザレの家
シオンの家

住居棟 (西)

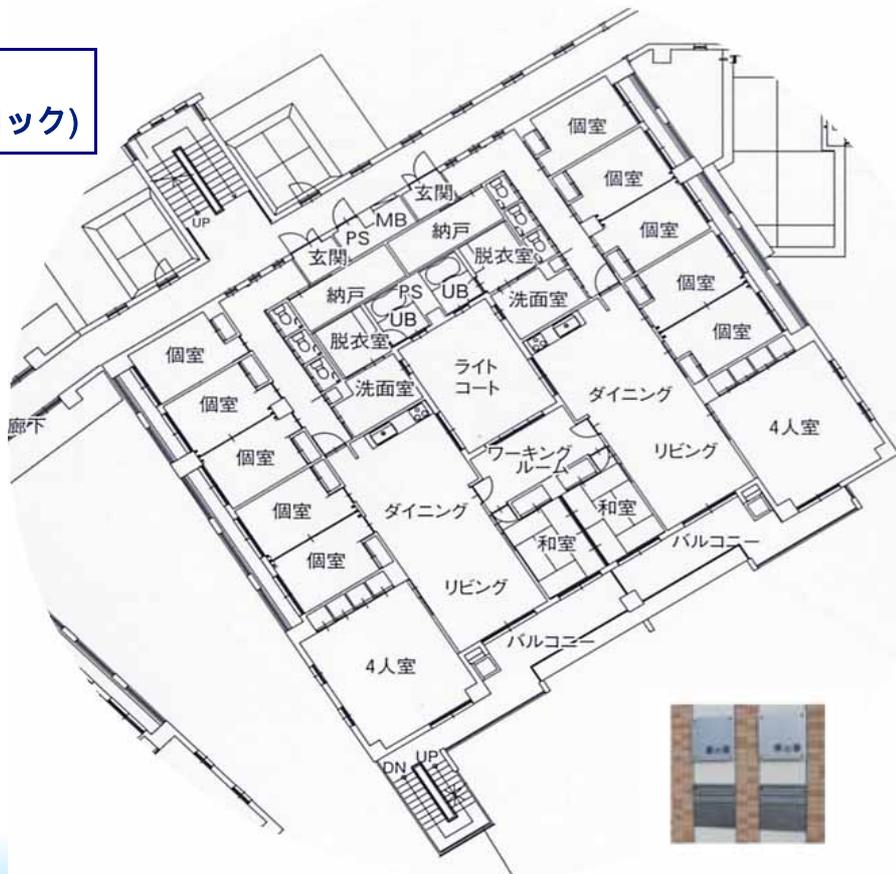
- 1階 恵の家
光の家
- 2階 幸の家
真の家

- | | | |
|---------|----|-----------------------|
| センターハウス | 1階 | 事務所 園長室 多目的室 プレイルーム 等 |
| | 2階 | 講堂 洗濯室 等 |
| | 3階 | 宿泊室 |

住居棟拡大図 (2つの家で1つのブロック)

各家は11人の定員で、そこを2人の職員が担当しています。子どもの居室としては、個室が5つ(内4つは可動壁で2人部屋として使用可能)、4人部屋が1つ、和室(2人での使用を想定)が1つとなります。

幼児を中心とした恵光のブロックは部屋の構成が異なります。



新園舎になって一言

- ・一人部屋ができてよかった (高2男・高1男)
- ・個室ができてよかった (中3男)
- ・物が全部新品になってうれしい。広くなった (高2男)
- ・食卓が広がった。ビデオデッキ、ソファーが新しくなってよかった (高3男)
- ・冷暖房がついて良かった。一人部屋ができてよかった (高1男)
- ・風呂場が広がって快適になった (高3男)
- ・グラウンドも広くなり、バスケットをはじめ、スポーツができるようになった (中3男)
- ・広がって住みやすい! (小4女)
- ・友だちに「いいなあ」って言われた (小6女)
- ・去年は出来なかった夏祭りができて嬉しい! (小6女)
- ・いろんなものが新しくなって嬉しい!! (小5男)
- ・蝶々がいっぱい嬉しい (小3女)
- ・キレイでいい (小4女)
- ・騒音が激しいけれども広がって良かった (中3男)
- ・朝、みんなと顔を合わせる機会が増えて良かった (中3男)
- ・きれいになった (中2男)
- ・窓がたくさんあって明るくていい。グラウンドが広がった (中3男)
- ・広い。かっこいい (小6男)
- ・広がったからストレスがたまらなくなった。みんなを呼びたい (小6男)
- ・机やベットを動かしたり模様替えをしょっちゅう楽しんでいる (小6男)
- ・建物がおもしろい (中1男)
- ・楽しい。ボールの壁当てができる壁があれば満点だった (中1男)
- ・外から中が丸見えだー。とってもスケルトン (中3女)



- ・広い! 個室が嬉しい (小6女)
- ・広くて遊べて楽しい (小4女)
- ・きれい、中庭が面白い (小4女)
- ・お風呂にかがみがついて、かんどー (小3女)
- ・ベランダが広くて外の景色をみるのが楽しみ (小3男)
- ・広くて使いにくかったけど、だんだんなれてきた (中2女)
- ・広い! 雨の日もあそべて楽しい (小6女)



- ・お風呂そうじをしてみたい(5才男)
- ・野きゅうができるようになったのしい(小1男)
- ・あたらしいおうちは、きれいでびっくりした(4才男)
- ・ごはんとおやつとアメちゃんが大チュキ(4才女)
- ・電気がいっぱいすごいな(小2女)
- ・(てつぼうで) さかあがりかしたい(4才女)
- ・こうじの人、おうちつくってくれてありがとう(6才女)
- ・つくえがもらえてうれしい(小2女)
- ・おもちゃであそぶのがたのしい(4才男)



- ・グランドが大きくてたのしい(小2男)
- ・一人部屋だからついきたなくしてしまう・・・(中3女)
- ・ソファとテレビとベランダ最高!!(中3女)
- ・やっと一人部屋になれてうれしい(中2女)
- ・きれいすぎ!!(中2女)
- ・みんなが喜べる園舎でよかった(中2女)
- ・机もあるし、ベットもある(小4男)
- ・となりが見えるわ♡(小3男)

- ・うーんと、あーん・・・わかんない(小2男)
- ・もうこのこといろいろおぼえたよ(小2男)
- ・いっぱいうごきまわられてうれしい。ひろいの大すき(^0^)(3才女)
- ・遊ぶ場所がいっぱい出来て嬉しい(*^.^*)(3才男)
- ・おもちゃの電話で遊べるのが楽しい(-.-)(3才男)
- ・・・・。(。.) (2才男)
- ・新しいお部屋で楽しい(^ ^)(3才女)
- ・大き~~~~~い(^-^)/(3才男)
- ・お部屋でゆっくり絵や字を書けるのが嬉しい(>_<)(5才女)
- ・たくさんのおもちゃで遊べて嬉しい(^__-)(3才男)



- ・先生がやさしくなった(中3女)
- ・何も感じない(中3女)
- ・整理するのが楽になった(小6女)
- ・先生が厳しくなった(小6女)
- ・ピアノがひけたよ!(小2女)
- ・普通(中2女)
- ・ソフトボールをはじめて男らしくなったぜ!(小3男)
- ・卓球と野球ができるようになってもう最高!(小5男)
- ・なんてキレイなのかしら・・・(小4女)



新園舎の生活になって感じるこ

各家の担当職員より

<ナザレの家>

- ・立派な新園舎に負けないように頑張りたいと思います (吉本篤史)
- ・生活空間が広くなり子どもの生活環境が素晴らしく、衛生的で健康的に過せるので伸々としてきた子ども達です。自然界からの四季折々の変化にも心を癒されています (吉田富美子)

<シオンの家>

- ・子どもが遠くなりました (西村雅子)
- ・建物に負けてません！ (豊本洋平)

<和(やわらぎ)の家>

- ・広くなってゆったりできるけど、掃除が大変です (田中しづこ)
- ・誰がそうじすんねん！ 年末のガラス拭きとか末おそろしい……。広くて誰とも会わなくて人恋しい。新築の我が家の数倍すばらしい。住みたい。でもそうじはだめだ (林豊)

<泉(いずみ)の家>

- ・新しい皮袋には新しいブドウ酒を……。 (山神裕一郎)
- ・きれいで嬉しいです。子どもも落ち着いた？ ようです (大貫聡美)

<幸(さいわい)の家>

- ・自分の力じゃこんなイイところに一生住めそうもないので、なるべくここにいる時間を長くしてマンキツしてます。食洗機バンザイ！ (勝村周一朗)
 - ・事務所まで遠くなったなあ。用事があるときは何mダッシュ？！
- それでも新園舎はキレイでありがたいです (横田智子)



<真(まこと)の家>

- ・酒の量が増えたなあ……。風呂気持ちよくてついつい長く入っちゃいます (及川貴志)
- ・初めて新しい園舎に入った時の子どもたちの嬉しそうな顔！ 忘れられません (長井礼子)

<恵(めぐみ)の家>

- ・自分のおんぼろアパートと比べてこの美しさ！ 器は出来たのであとは中身だ (山崎弘嗣)
- ・新園舎からスタートできるのがうれしい。このきれいさをちゃんと保てるかな (宮崎千鶴子)
- ・広くてキレイ、すごく嬉しい。でも壁に落書き、散らかしっぱなし、掃除が……。 (杉山美郷)

<光(ひかり)の家>

- ・子ども達が生き生きしてきた 遊び場があることはとても素晴らしい！ (加賀沙千恵)
- ・広くてみんなのびのび！ でもこっちはハラハラ……。 (明前久美子)
- ・綺麗な建物だけど掃除が大変だー (_-;) (塩谷尚子)

調理に携わる職員より

- ・ 緑と光の空間の中で快適に新たな気持ちで仕事しています (伊島茂子)
- ・ 初心を忘れずにチームワークでおいしい食事を作ります (内藤加代子)
- ・ 新園舎になったと共に新しいメニューに挑戦していきます (杉本康子)
- ・ 皆の笑顔を、皆の元気を見ていたいから、又新たに時をきざんでいきます (河野由美子)
- ・ 園舎そして私自身も新しい生活のスタート。園舎に負けず頑張ります (森重志穂)

生活全体の業務に携わる職員より

- ・ あったかいうちに、ひょっこり覗くお隣さん。そういう人になりたいです (柳沢亜矢)
- ・ ハードにもおとらないソフトをみんなで築いていくぞ! (川島稔)
- ・ 部屋が広すぎて掃除が大変(・;・)でも、汚い家は嫌(>_<)(泉水和恵)
- ・ いろいろありました。そしてまたいろいろあるでしょう。一步一步です (村岡薫)

心理職員より

- ・ 建物が新しいと来る度にワクワクした気持ちになります (芝太郎)
- ・ ピカピカの新園舎をバックに遊ぶ子どもたちの姿、とても生き生きとしています (石井祐子)
- ・ 光あふれる新園舎が、子どもたちの暖かい家になればと思っています (樋口優子)

事務職員より

- ・ 節約への協力依頼。特に電気、水道、加えて複写機の使用には全員で気を使いましょう (渡邊優)
- ・ 伝統と新しい園舎に負けない養護を目指し頑張りたいと思います (鈴木尚子)
- ・ 美観にまどわされず、内なる光を求めよ (中川光輝)

園長より

園に遊びに来る地域のお友達が増えました。講堂等の利用申込みも増えつつあります。嬉しい限りです。

今年度のとりくみ…

『2003 みんなのルール』より



鎌倉児童ホームでは、そこで生活する子どもたち一人ひとりを大切に考え、その自由と権利が守られるようにします。

本当の意味で私たちが自由であるということは、そうかんたんなことではありません。それは私たちが多くの人といっしょに生活しているからです。例えば道路にひとつも信号機もなく、標識もなく、車の走るスピードなどの決まりもなかったらどうでしょう。それは自由に走れるようであるけども、一人きりで走っているのではない限り、実際は事故ばかりがおこるでしょう。まるでルールがないということは、実はとても不自由で、不安とぶつかりあいがいっぱいの生活になってしまうのです。

誰もが自由であるけれど、それと同時に他の人の自由や権利も大切にしないといけません。けれども人間はついつい自分を中心に考えてしまって、わがままや自分勝手な行動をしてしまうものです。そのために社会にもいろいろな決まりがあるのです。すなわち一人ひとりの自由を大切にするためには、みんなの「自由」の交通整理をするためのルールが必要になってくるのです。

ちょっと難しいかもしれませんが、自分の好き勝手にしたいという思いを、まわりの人の迷惑にならないようにコントロールしていくことのなかに本当の自由はあるのです。

もっと難しくいうと、自分の『自由と権利』は他の人に対する『義務と責任』と合わせて存在するのです。

『平成15年度 直接処遇部門職務実践の手引き』より



原石を輝かせる

その子どもが何で輝くか、プラスのエネルギーを出せるか、考えましょう。

個々の課題への指導的な取り組みとともに、『愛され』、『大切な存在として受け止められ』、『認められ』ることによって、子どもたちが伸びていくことを忘れないようにしましょう。口で言うほど簡単なことではありません、大人自身も心身ともに大変なエネルギーが要ります。それでもことに直接ケアに携わる方々には心にとめておいてほしいと思います。

ケア方針と体制

1. 子どもと大人とのより持続的な人間関係を重視する。
2. 各家ペア担当と子どものケース担当による重層の対応を行う。
3. ブロック分権と自治による小さい単位での生活をつくる。
4. 子どもも大人も含めて小さな民主社会の構築を目指す。



編集後記

新園舎で迎える初めての夏休み、いつの時代も子どもたちが伸び伸びとエネルギーをだせる世の中であって欲しいと願います。第2号の広報誌から2年4ヶ月の間、子どもと大人、子どもと子ども、大人と大人がそれぞれにぶつかり合いながら、全体として成長を重ね、一歩ずつ生活が築かれてまいりました。

多くの方の心づかいと支えに感謝しつつ、私たちが今できるあゆみを進めてまいりたいと思います。(K.M)